

## 近畿病院図書室協議会第100回研修会

研修部

日 時：2003年1月24日(金) 10:00～16:45

場 所：大阪労災病院

プログラム：

1. 医療制度の特徴とその実態

姫島診療所 前田 元也氏

2. 近畿病院図書室協議会総合目録データ提出方法について

京都南病院 山室真知子氏

3. 『医学の基礎知識』膝のスポーツ障害

大阪労災病院 スポーツ整形外科部長  
堀部 秀二氏

4. もっとよくわかる医学用語

高槻赤十字病院 濱口 恵子氏

5. 第100回研修会を迎えて

近畿病院図書室協議会の歩みと未来への期待

京都私立病院 重富 久代氏

星ヶ丘厚生年金病院 首藤 佳子氏

住友病院 松本 純子氏

淀川キリスト教病院 山崎 捷子氏

京都南病院 山室真知子氏

司会 国立京都病院 小田中徹也氏

参加者数：34名

今回で当協議会の研修会も100回目を迎え、その歴史をふまえた上で医療界をめぐる基礎知

識修得に重点をおいた内容となった。

今回の講師である前田氏は、西淀病院図書室司書として勤められた経歴をもっておられることから、医療制度の特徴やその実態と共に、病院図書室における患者を視野に入れたサービスなどといった、大変興味深い講演をしていただいた。

また、濱口氏からは以前出版された『わかる医学用語』を今回はさらに「もっとよくわかる医学用語」として、医学用語の特性、構成要素、基本的構造などについてとてもわかりやすく講義していただいた。

山室氏からは、2003年度版総合医学雑誌目録のデータ提出について説明がなされた。利用者からの文献入手依頼が増加の一途をたどる現状、総合目録が果たす役割は大であると考えられる。

医学の基礎知識では、膝のスポーツ障害ということで、日頃あまり馴染みのないものではあるが、スポーツ選手のケガや故障についてなど興味深いお話であった。

最後に、「近畿病院図書室協議会の歩みと未来への期待」として、当協議会の発展に尽力されてきた先輩諸氏の貴重な意見を聞かせていただき、今回の研修会は終了した。